

## 工事費内訳書の提出について

「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」一部改正により、平成 27 年 4 月 1 日以降の公共工事入札は、金額にかかわらず入札金額の内訳を記載した書類(工事費の内訳書)の提出が義務化されました。

入札(見積合わせ)参加者は工事費内訳書を全員提出する必要があります。

そのうえで、落札候補者の工事費の内訳書に対して、さらに内容の審査をおこないます。不備等がある場合、失格とすることがありますので、下記の事項に留意のうえ、誤り・漏れがないように記載してください。

なお、工事費内訳書の提出は入札(見積合わせ)の 1 回目のみです。2 回目以降の再入札(見積合わせ)の時は不要です。

### 記

様式は自由ですが、提出書類の 1 枚目に「工事名、商号又は名称・代表者職氏名、提出日」を記載し、代表者印による押印が必要です。(必須)

工事費の内訳書には、内訳明細を集計した種別等の項目ごとに金額を記載し、入札書(見積書)に記入した入札金額の内訳となるようにしてください。なお、合計額は入札額(見積額)と一致させてください。

具体的には以下のとおりです。

- ・土木工事等は設計書の本工事費内訳表の各項目に対応する金額を記入したもの。
- ・機械器具設置工事等は設計書の工事費総括表の各項目に対応する金額を記入したもの。

企業団が交付した設計書のうち本工事費内訳表(工事費総括表)を複製したものに金額を記入し、工事費内訳書に使用しても構いませんが、「工事名、商号又は名称・代表者職氏名、代表者印、提出日」の記載及び代表者印による押印は必要です。

商号又は名称等の部分を別紙として作成し、表紙として一番上に添付しても構いません。

なお、設計書(原本)には記入しないでください。

※ 設計書(原本)は入札前に回収します。

最後に一括して合計額から値引きする等の金額調整は行わないでください。

値引き等の項目を計上した工事費内訳書は無効となりますのでご注意ください。

(スクラップ控除等のマイナス計上は有効です。)

入札書(見積書)提出の時に内訳書の明細は提出不要ですが、入札書(見積書)の提出後に、場合により内訳明細書の提出を求めることがあります。

上記は一般的な説明です。異なる指示があった場合はその指示に従ってください。

作成にあたり不明な点は、問い合わせ先へお尋ねください。

記載内容等に不備がある工事費内訳書を提出した落札候補者は、落札が無効となることがあります。その場合次順位者を繰り上げて落札候補者とし、あらためて工事費内訳書の審査をおこないます。

裏面に工事費内訳書(様式)を参考として付けていますが、提出様式は自由です。

平成 年 月 日

福岡地区水道企業団企業長 様

住所

氏名

印

### 工 事 費 内 訳 書

工 事 名	
-------	--

	工 種 等	見積金額 (円)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
合 計		

※ 合計欄の金額は、入札書(見積書)の金額と一致する。

( 記 載 例 )

平成 2 7 年 4 月 1 日

福岡地区水道企業団企業長 様

住所 福岡市南区清水四丁目 1 3 番 5 1 号

福岡水道企業工事

氏名 代表者 福岡 水道雄



印

工 事 費 内 訳 書

工 事 名	牛頸浄水場 送水管布設工事 (その 2 1)
-------	------------------------

	工 種 等	見積金額 (円)
1	材料費	2,000,100
2	工事費	38,004,555
3	管工事	33,004,455
4	管布設工	7,003,555
5	土工・土留工	20,000,700
6	付帯工	6,000,200
7	処分費	5,000,100
8	直接工事費計	40,004,655
9	運搬費	50,830
10	安全費	5,306,400
11	技術管理費	942,500
12	共通仮設費	10,647,445
13	現場管理費	22,033,999
14	一般管理費等	8,888,171
15		
16		
17		
18		
19		
20		
合計		87,874,000

この記載例中の金額その他は  
架空のものであり、実際の算定  
方法によるものではありません。

※ 合計欄の金額は、入札書(見積書)の金額と一致する。